

「おかざき有機農業塾」の取組について

西三河農林水産事務所

岡崎市は、2024年3月にオーガニックビレッジ宣言を行いました。これに伴い同年9月からは有機農業に新たに取り組もうとする方を対象に、「おかざき有機農業塾（以下、農業塾）」を開講し、有機農業の社会的意義や魅力等が学べる機会を提供しています。

1 おかざき有機農業塾とは

40年以上有機農業を普及するため技術支援に取り組んできた公益財団法人自然農法国際研究開発センターから講師を招き、有機農業に必要な土づくりや病害虫の発生を抑える作付け体系の講義と実習を行っています。

農業塾は期間が1年間で、月2回のペースで開催されており、これまでに1期生17名が卒業し、現在は2期生15名が入塾しています。苗や肥料、資材、農機具等は塾側が用意しているため、受講生は気軽に通うことができます。「有機農業に取り組んでみたいが様々な情報が溢れています、どうやって始めればいいか分からず」という方などが受講しています。

2 耕地生態系を生かした有機農業

講義は、地域の土壤の特徴や生態系、有機農業で生産した野菜の品質について理解を深め、実習では、地域に適した数種類の野菜や牧草を植え、収穫までの作業を体験します。作物と競合しない牧草や天敵、無害な昆虫を増やす多様な耕地生態系づくり、殺虫剤を使わずに虫害を予防する方法や、作業の工夫・作付け体系を学ぶことができます。

また、実習では受講生同士が協力し合い、声を掛けながら進めることで、自然と交流が生まれ、仲間づくりの場にもなっています。

卒業生からは「地元農林水産物への関心が高まり産地や生産者を意識して購入するようになった」、「卒業後、産直施設への出荷も目指していきたい」という声が寄せられています。こうした体験が有機農業や食への理解を深めるきっかけとなり、今後さらに多くの人が有機農業に取り組むことが期待されます。



有機農業に関する講義



ボカシづくりの実習